

# 進路状況2020

## 令和元年度 卒業生からの生の声

昨年度の卒業生から、合格体験記を集めました。今後のみなさん（受験生）への良きアドバイスとして、是非、是非、参考にして下さい。

合格の秘訣は？先輩の体験から学ぼう

### 受験体験記

#### ■ 合格体験記 1

国公立四年制大学

北見工業大学 工学部

地球環境工学科

<公募推薦入試>

#### 「 受験で大切なこと 」

僕は公募推薦入試で北見工業大学に合格しました。ここでは僕が実際に体験した受験に関することを記してみます。僕は高校三年生の初めのころは将来の目標もなく、ただひたすらに勉強していました。部活も終わり、本格的に受験勉強を始めました。その頃から志望校を考えはじめました。一つ下に妹がいたので学費的に私立や浪人という選択肢は初めからありませんでした。その中で先生の勧めもあり、また近くに親戚が住んでいることもあり、志望校を北見工業大学に決めました。

北見工業大学は、学科が二つあり、僕はどちらに進もうと迷っていました。いろいろと考えた末、やはり好きなことを職業にしたい思い、好きな化学分野のある地球環境工学科に決めました。学科の中には、いくつもコースがありますが、コース決めは二年生の時です。だから、将来について考える時間が増えるので良いと考えたのです。そういう点にも注目することも重要だと思います。

北見工業大学には公募推薦入試があり、試験では数学と面接がありました。小論文ではなく数学だったので、一般入試にも備えられて良かったです。そういう所を選ぶのもありだと思います。やっていた勉強方法は、過去問題を何度も解くことでした。初めて過去問題を解いた時は、できない問題もあったけれど、何度も解くことでだんだんできるようになっていきました。

面接で受けた印象、それは大学の情報を知れるだけ知っておいた方が良いということです。大学の授業や研究室やサークルなどについて詳しく調べておくことで、面接の際に話も広げることができます。これは絶対にやっておいた方が良いでしょう。後は、将来的にやりたいこと、高校生活で自分が一番頑張ったことを出来るだけ明確にすることも大切です。

大学の公募推薦入試は11月末でした。そのため、それまでに面接の内容を深め、過去問題を完璧にしました。受験を受けるまでに、何回も模試がありました。ずっとE判定で、心が折れそうでしたが、そういう時は割り切った方が良いでしょう。ただ自分の出来ることを精一杯やった方がいいです。しかし、公募推薦入試で必要になる数学だけは模試で大切にしていました。最初の点数はとんでも低くて、本当にこれで受かるのかなと不安でしたが、解き直して問題を理解することで解ける問題が増えていき、点数がだんだんと上がっていきました。受験で使う科目の模試は絶対に解き直したほうが良いでしょう。

受験当日になり、会場についてからはあまり周りを気にしないことが大切と思いました。他の人がどれだけ頭がいいかな

んてことはわからないし、そんなことを気にするくらいなら勉強してた方がまだマシです。とにかく自分の尽くせるベストを出そうとしました。本番の面接では一人対五人の面接でした。面接の練習では、一対一しかやったことがなかったので少し緊張しました。そういう状況でも、自分を信じて、今まで積み上げてきた力を最大限に発揮しようと思うことが大切だと思います。

受験を終えて思ったことは結局、自分の意志が一番大事ということです。部活が終わってから、夏休みに入ったら勉強すると言っている人は結局ずっと勉強していません。高校に入って良い学習習慣が身につけている人は続けて勉強していました。だから、最初は難しいと思いますが、学習習慣を早めに身につけた方がいいです。いろいろ悩むことが多くて大変でしたが、一つ一つ問題をクリアしていくことが大切だと思いました。

## ■ 合格体験記 2

国公立四年制大学 琉球大学 農学部 亜熱帯生物資源科学科 <公募推薦入試>

### 「合格までの高校3年間ストーリー」

#### 高校1年

初めての高校生活で慣れることに苦労したが、新たな友達を得て、ともに学校生活を送った。今から思うと家庭学習時間が少なく、後悔している。

#### 高校2年

学校生活が部活動になったこと、2年生という中だるみの時期で勉強をあまりしなかった。後半になり、危機感を感じて自分なりに今までの復習を始めた。

#### 高校3年

##### 春

部活動もラストスパート、インターハイでは負けたがメンバーと悔いなくやり遂げることができた。進路も本格的に考え始めたが、勉強をしてこなかったことを後悔する。

##### 夏

部活を引退して、受験勉強に本格的に取り組んだ。毎日9時間以上も勉強して、学校や図書館も利用した。この時期に推薦入学試験対策も始めたため、毎日がきつかった。

##### 秋冬

小論文がうまく書けなかったり、面接対策を進めたりしていく中で、自分の進路について1度悩むこともあったが、努力してきたことを信じて無事合格することができた。



## ■ 合格体験記 3

国公立四年制大学

静岡県立大学

食品栄養学部

食品生命科学科

<公募推薦入試>

### 「自分を信じて」

私は11月末に公募制推薦試験を受験し、合格することができました。高校入学時は大学進学するつもりはあまりなく、栄養士の資格が取れる専門学校に行くことを考えていました。しかし、担任の先生に静岡県立大学を紹介していただいて、8月のオープンキャンパスに参加することを決めました。このオープンキャンパスで食品について学ぶことの楽しさに気づいたことがこの大学を目指すきっかけとなりました。

入試方法を調べたところ、公立大学なので科目数が多く、さらに化学や生物の専門科目を受験しなければなりません。私は自分の安易な判断で文系を選択していたことをとても後悔しました。しかし、オープンキャンパスでの経験が忘れられず、どうしても入学したかったので、先生方や両親に相談したところ、塾に入って化学を勉強し、公募制推薦に挑戦することになりました。

文系科目の勉強を怠ることなく成績を維持すること、無遅刻・無欠席を続けること、入試に対応できるレベルまで化学を身につけることを自らに課し、2年生の9月から受験勉強を始めました。部活が終わったら急いで片づけをし、塾で授業を受け、学校の課題があればそれも終わらせるという生活を毎日続けました。思うように勉強が進まず、難しく嫌になることもありましたが、不安をやめたくなることもありましたが、自分の進路選択を応援してくれた両親や先生を裏切りたくないという気持ちと、始めた以上、やるしかないという思いでなんとか続けました。

部活を引退してからは時間を十分にとって勉強できるようになりました。そこで、夏休みからは問題演習を始めました。授業で理解していたはずの所も、問題を解いてみると全然できず、わからない所を始終、先生に聞いていました。公式を当てはめれば、すぐに解ける問題でさえも、公式が身につけていなかったため、なかなか解けません。こんな状態で、はたして入試に間に合うかと心配でした。とにかく、勉強するしかない状況だったので、無我夢中でした。また、塾の仲間には一日中、勉強している人がいました。また、私以上の科目数の勉強をしなければならない人もいました。そういう環境にいることがとても励みになりました。

ある程度問題が解けるようになってからは入試の過去問に挑戦しました。わからない所は先生に聞いていましたが、だんだん解ける問題も増えてきて自信が持てるようになりました。入試の過去問は大学ごとに傾向があります。この学習を通じて、どんな問題が出やすいのか知ることができました。また、自分の苦手な分野、得意分野がだんだん明確になってきたので、それに合った勉強をするようになりました。

入試直前は面接練習と今までやってきた問題の確認をしました。面接は学校の先生を相手に練習したのですが、緊張して言葉がうまく出ないことも多くありましたし、また、答えにくい質問にどう対応していくかの対策をするのが大変でした。わからないことやあいまいなことは家で調べ、次の面接練習では言えるようにしていました。入試当日は落ち着いてやり切ろうと思って受験しました。どれだけ面接対策をしていても、本番ではうまく答えられなかったこともあったし、また、解けるレベルの問題を間違えてしまったりも、反省すべき点は多くありましたが、なんとか合格することができました。

さて、私が何とか合格できた理由ですが、それはわからないことがあっても、すぐに聞いて解決できるという環境があったことだと思います。自分で頑張るのも大事だと思いますが、私の場合は教えてもらったとき、どのような説明のしかたをされたかとか、図録のどこに答えがあったかなど、その時その時の状況を思い出すことが、試験で問題を解くことにつながっていました。だから、恥ずかしがることなく積極的に先生に聞くとういと思います。

また、気持ちの面ではやりたくないと思う日もありました。また、本当に合格できるのだろうかという不安を常に感じていました。けれども、勉強すれば、した分だけしっかり身につけて結果が出るものです。だから、自分を信じて頑張るべきです。

さらに自分が集中できる環境をつくるのも大事です。私の場合、塾で一般入試に向けて勉強している人と一緒に勉強することが一番励みになりました。図書館や放課後の教室など集中できる所を見つけて下さい。皆さん、良い結果を出せるようにぜひとも頑張ってください。

## ■ 合格体験記 4

国公立四年制大学 公立諏訪東京理科大学 工学部 情報応用工学科 <公募推薦入試>

### 「私は如何に公募制推薦に取り組んだか」

私は公立諏訪東京理科大学の公募制推薦試験に合格しました。私の体験を記してみたいと思います。

まず、私の志望校決定時期は高校二年生の時です。その時にこの大学は私立から公立に変わったばかりでした。三年生の夏、オープンキャンパスに参加して、模擬講義を受け、とても魅力的に感じられたので、ぜひこの大学に入り、学んでみたいと思い志望しました。

受験勉強について記してみましよう。私は一年生の頃から塾で勉強していました。そこでは学校の宿題と数学だけを勉強していました。数学については、学校配布の問題集を解くことだけにひたすら取り組んでいました。一年、二年では1年間で問題集をすべて解き、三年生になってからは、4ヶ月で終わらせました。この学校の推薦入試の科目は数学だけだったので、筆記試験は楽でした。

この経験から私ができること。それは何か一つだけでもいいので得意教科を作ることです。一教科でも学年トップだとモチベーションも上がります。しかし、自信過剰も禁物です。自分の足元をすくうことともなるので注意して下さい。

三年時には、推薦入試の勉強ではなく、センター入試対策に取り組みました。と言っても、物理、数学、英語しかやっていませんでした。数学と物理は知識ではなく、問題を解いた数がものをいう(特に数学)ので過去問10年分を二回り解きました。英語は毎日、英語に触れることを意識して、主に長文和訳などに力を入れていました。(そのかいあって、模試では60点点数が上がりました)。

最後に私の勉強時間について記してみたいと思います。私は時間数を意識することはしませんでした。やりたい時間に、やりたいたく、やりたい教科を勉強してきました。平日は17時~21、22時までやり、土曜日は13時~20時ぐらいまで続けました。これを二年生からやっていたので、最初はきつかったけど途中で慣れました。逆に日曜日はペンを持たず一切勉強しませんでした。

受験を経験して感じたことを記してみましよう。

- ・最初から推薦を狙っていると落ちた時に何もできなくなる。だから、照準は一般入試に合わせる。これは指定校推薦の人にも言える。
- ・模試に力を入れることが大切。模試は全国の中での自分の立ち位置がわかる唯一の機会です。無駄にするのはもったいない。
- ・倍率は見ない方がいい。見たところでやることは変わらない。逆に緊張するので見ない方がいい。
- ・結果に一喜一憂しない。大学の試験で最初の教科の出来が悪くても悩む必要はない。悩むだけ無駄だし、結果は変わらない。それくらいなら次の教科の勉強をすべきです。
- ・苦手な教科は1ページでもいいから毎日やるのが大切。
- ・一つ一つの授業を大切にしてい。教科によっては終わらない教科もあるので、予習をしておくとも後々楽になる。

私の受験体験記が少しでも皆さんのお役に立てたら幸いです。たいへんだとは思いますが受験勉強を頑張ってください。

## ■ 合格体験記 5

国公立・私立短期大学

静岡県立大学短期大学部

歯科衛生学科

<公募制推薦入試>

### 「 受験を終えて 」

受験生の皆さん、受験勉強は頑張っていますか。今日は皆さんに私の大学受験合格体験記をお届けします。少しでも参考にいただければ嬉しく思います。

私が志望大学を決定したのは高校2年生の時でした。早い段階で志望大学を決めていたので、その目標に向けて受験への準備を日々進めていました。そのために私は授業で基礎をしっかりと身に付けられるように取り組んでいました。

3年生になり、受験生となった私は、まずに静岡県立大学短期大学部のAO入試を受けました。AO入試は1次試験で書類審査、2次試験で聴講記述試験がありました。1次試験は合格しましたが、2次試験は不合格でした。AO入試が不合格だったとき、今まで努力した分、とても悔しかったのを覚えています。悔しくて目が腫れるくらいに大泣きました。この時改めて、大学受験は甘くないのだということを学びました。

AO入試に落ちてしまった私は、泣いていてもしかたがないと思い、公募制推薦の準備とセンター試験の勉強を並行して始めました。静岡県立短大の公募制推薦は小論文と面接がありました。私は小論文がとても苦手だったので、とにかく小論文に慣れることから始めました。毎日小論文を書き、担任の先生や小論文担当の先生に添削をしてもらいました。また、県立短大の過去問をやり、小論文の問題傾向も勉強していました。

私は小論文を書くのが苦手です。小論文を書くことがとても大変でつらく、心が折れそうになることが多くありました。そんな中でも、家族や友人からの励ましのおかげで、どんなにつらくとも頑張ることができました。そして何より、県立短大にどうしても行きたいという気持ちを強く持ち続けました。

公募制推薦試験当日になりました。AO入試の時と同様に公募推薦も落ちてしまうのではないかと緊張しました。ですが、今まで自分がやってきたことを信じて自分なりにやりきろうと思いました。小論文の問題は難しかったですが、なんとか最後の1マスまで書き終えることができました。面接は1つの質問の答えに対して、つっこみを多く入れられました。そのつっこみにも焦らずに、ゆっくりと自分の伝えたいことを伝えることができました。試験が終わった後、やりきったという自身はありつつも落ちたらどうしようという不安もありました。

合格発表の日、担任の先生から合格通知をもらいました。結果を知った時、今まで悔しいことや辛いことがあった分とても嬉しかったです。

大学受験を通して学んだことがあります。それは、絶対に最後まで諦めずに目標に向かって努力することの大切さです。そして、どこでもいいからとか専門学校でいいやという安易な気持ちでは、自分が本当に行きたい所に合格できないと思います。

受験生の皆さん、これから大変なことが多くあると思いますが、めげずに前向きに頑張ってください。



## ■ 合格体験記 6

私立四年制大学

東京農業大学

生物産業学部

自然資源経営学科

<AO入試>

### 「 目標を持って 」

まずは受験に挑む前のアドバイス等を書いてみましょう。

私は中学生の頃から農業に関する仕事に就くことを目指していました。しかし、その目標も漠然としているため、どんな大学に行けばいいのかわかりませんでした。そこで、自分はどんなことがしたいのか、逆にどんなことはしたくないのかを具体的に考えることから始めました。

私は体を動かすのは苦手です。だから、農作物を作るのではなく、経営者として農業に貢献しようと考えました。まずは、具体的に目標を立てることができれば、自分が目指すべき方向が自ずとはっきりしてきます。そうなれば、大学選びも楽になります。

また、目標を立てると、オープンキャンパスがより有意義になります。何を見ればいいのか、何を探せばいいのかははっきりしてくるからです。オープンキャンパスの際、在校生の方から「そういう進路を目指すなら、農業技術検定を持っていると、推薦で有利だ」と教えていただきました。そこで善は急げと、すぐに検定を取得しました。在校生の方から受験についてアドバイスをもらえることもあります。だから、オープンキャンパスにはぜひとも参加するべきです。

ここまで、私は目標を立てることの重要性やオープンキャンパスについて書いてきました。けれども、人によってはその前の段階、全然決められないで考えあぐねているという人もいるでしょう。そんな人はとにかく評定平均を高く保つべきです。推薦入学、指定校推薦、AO入試といった手段を用いようと思うなら、評定平均値が重要になってきます。そして、たとえ0.1でも基準に届いていない場合、受験することすらできない、推薦入学などの手段を用いることができなくなります。いろいろ考えた末に、やっと目指す大学を決めたとしても、評定基準に達していないがために、みすみす受験機会を失うのはとてももったいないことです。その時になってから後悔しても遅いのです。出願時期が早いため、推薦入試やAO入試は3年一学期までの成績が調査書に記載されます。考えがまだまとまらないという人はまずは評定平均値を高く保ち、自分が選べる選択肢の数を増やしておくことが大切です。

ここからは私の受験体験について書いてみましょう。

私は「キャリアデザインAO入試」。つまり卒業後、社会の発展に貢献することが期待できる人を選抜するという入試に挑戦しました。私は目標を立ててからは、それをどのように実現しようかと自分なりに構想を練っていました。だから、自己推薦書では農業の現状や問題点等を調べ、その上で、それらの問題を解決するためには、その大学で学べるビジネス形態を用いるとよいというように、具体的に自らの考えをまとめ、提出することができました。これも自分が目標をしっかりと定め、具体的に考えていたからです。それなしでは、このAO入試に挑戦することすらできなかったでしょう。志望校が決まっている人はどのような入試形態があるのかしっかりと調べておくことで挑戦の幅が広がるかもしれません。

無事に一次選考を通過、二次選考では小論文と面接がありました。小論文は時間制限があり、緊張もするため、十分に対策をしていかなないと時間内に書き終えることができません。面接も同じです。調べた知識も自分の言葉で説明できなければ意味がありません。そのため、知識を蓄えておくことが大切です。AO入試は出願が早いいため計画的に準備する必要があります。

最後にお願いが一つあります。合格先が決まった安心感で授業態度やテストが疎かになってしまうこともあると思います。ですが、受験は団体戦と言われるように、クラスで勉強を頑張る雰囲気を作ってほしいと思います。

本校はAO入試や指定校推薦で進学先が決まる人が多くいます。また、クラスの雰囲気を作っていくのは既に合格した人たちです。その人たちがクラスの雰囲気を良いものにしていけば、これから受験を控えている人にとって、より良い環境を作ることができます。自分さえよければいいではなく、皆が幸せになれるよう環境を整えるのは、すでに合格した者の義務でもあるのではないのでしょうか？私は地理のテストは誰にも負けたくないと頑張っていたため、合格後も地理だけは誰にも負けないように勉強を続けました。それがきっと将来にも役立つと思っています。また、AO入試や指定校推薦で合格した人は他の人よりも時間に余裕があるため、大学に向けた準備を早めにしていくといいでしょう。

ここまで長々と書いてきましたが、3年生になってからの1年はとてもあっという間でした。もっと真面目に勉強をすれば良かったと後悔しています。大学はゴールではありません。人生はまだ勉強が続きます。高校の勉強は土台のようなものです。そして、立派な家を建てるためには、しっかりとした土台が必要です。今、勉強していることが将来役に立つはずがないと思っている人もいるでしょう。ですが、そういう人は勉強が役に立たない～言い方を変えれば、誰にでもできること、特別な技能や知識を必要としない～仕事を選ばざるをえなくなります。自分が、他の人と違う、自分であるために勉強は必要なのです。これを読み、少しでも勉強を頑張ってみようと思ってくれる人がいるように願っています。

## ■ 合格体験記 7

私立四年制大学

創価大学

法学部

法律学科

<公募制推薦入試>

### 「 受験が終わって見えてくるもの 」

僕は公募推薦で創価大学に合格、入学することとなりました。そこで、ここではこの大学を受験するに至った過程と、合格するまでの体験を書いていこうと思います。

僕は中学生のころから親に勧められて、創価大学のオープンキャンパスに参加していました。中学生の時はまだ先のことなどよくわからず、特に大学については考えてはいませんでした。高校に入ってから、進路を決めねばならない時期にさしかかりました。けれども、怠惰な性格の僕は特に行きたい大学もなく、ここでいいかという風に進路を決めました。

前述したとおり、僕は面倒くさがりな性格です。だから、勉強も全くしていませんでした。その結果、たとえセンター試験を受けたとしても、合格確率は低いと言われました。そこで、僕は推薦入学試験の受験をしようと考えました。しかし、二年生の夏休みが終わった後から持病が悪化、しばらく入院。日数的に推薦基準を満たさない可能性が高いと言われました。そこは先生方のご配慮により、何とか公募推薦を受けることができました。

公募推薦の入試の形態は複数の教科の中から一教科選択し、その教科の筆記試験を受験、その後、面接を行うというものでした。僕は得意教科である現代文を選びました。僕は国語に関しては自信がありました。昔から読書などで積み上げてきた知識などがあったので、特に勉強する必要はないなど自分では考えていました。となれば、やはり面接に力を入れなければなりません。そこで、担当の先生に7回ほど面接練習をお願いしようと思ったのですが、友人とその先生に多すぎると言われ、確かに先生にもそれなりに負担がかかるなと思い、5回に減らしました。

しかし面接の練習をやっていく中で、自分がとてつもなく面接ができないということがわかりました。先生からもやっぱりもう少しやったほうがいいといわれ、結局9回ほど練習をさせていただきました。その面接練習の間、友人の手本を見せてもらったりして、何とか最低限のことはできるようになりました。試験当日、試験会場廊下で大学関係者だろうという人が座っていました。僕は少しでも自分をよく見せようと心がけました。その後、無事、現代文の試験を終えて面接を受けました。面

接では少しだけミスをしてしまったものの、それ以外はうまくできたと思います。いろいろありましたが、何とか僕は合格しました。

そして、ここからが本題です。今までの記述からおわかりのことと思いますが、僕はほとんど努力せずに大学に受かってしまいました。僕が合格できたのは、運と周りの人々の支えによってです。僕は僕を支えて下さった人たちに感謝してもし切れません。

そして今僕が思うことは、勉強をしておけばよかった。これに尽きます。今さら何を言っているんだと思われるでしょう。けれども、これからのことを考えると大学の授業についていけるか不安でなりません。下手をしたら留年してしまうかもしれない。毎日そう思っています。だからこれを見ている皆さん。勉強はしましょう。しなくてもいいですが、後悔する時がやがて来ることになります。未来で困ることになりたくなければ、今できることをまじめに取り組んで下さい。僕がこれから受験をする皆さんに伝えられることはこれだけです。拙い文でしたが受験生の皆さんのためになればと思います。どうか頑張ってください。

## ■ 合格体験記 8

私立四年制大学

日本大学

国際関係学部

国際総合政策学科

<AO入試>

### 「 やればできる！ 」

私は日本大学・国際関係学部・国際総合政策学科のAO入試に無事合格し、4月から大学生となります。

AO入試って言葉は知っているけれど、具体的にはどんな入試なんだろう？って思っている人もいるでしょう。簡単に説明しながら、私の体験を伝えていこうと思います。

AO入試とは、簡単に言ってしまうと学力を必要としない入試のことです。そして、試験日が指定校推薦、一般入試よりも早いのが特徴です。私は最初受験生という自覚が全くありませんでした。ただ、両親との約束の範囲内で、かつ自分の頭で行ける大学を志望校にしておこうとしか考えていませんでした。その甘い思い込みから目が覚めたのは、1学期の半ばのことでした。「成績が今のままなら、志望校は無理だぞ」と二者面談で告げられ、遅まきながら危機感を感じました。結局、あてにしていた指定校推薦は無理となり、そこでたどり着いたのがAO入試。大慌てで5月の終わりから本格的にシフトチェンジを始めました。

まずはAO入試の日程や形態を調べ始めました。試験形態は大まかには3種類、スポーツ、グループディスカッション、文化・芸術というカテゴリ分けがされています。その中のスポーツ方式を使おうと決めましたが、自分の手落ちから、またしてもダメにしまいました。となっては、もうグループディスカッションしか選択の余地がありません。そこからは時間との戦いでした。必要な資料を揃えるなどスタートが遅れた分、やることは山積でした。

まず、AO入試に出願できるかどうかを判定される書類審査からです。志望理由書と課題小論文を残り一ヶ月で仕上げなくてはなりません。テーマが地球温暖化だったため、図書室で関係する本を借りて読むところから始めました。1ヶ月しかないのにほぼ0からのスタートだったため、時間がとにかく足りない。完成したのは締め切りの3、4日くらい前。正直、不安しかありませんでした。(笑)

7日後、1次審査合格の報が届きます。ここまで来たらやるしかないと思ったのを覚えています。そこからはグループディスカッションの練習をひたすらする毎日。自分にとって初めての経験だったため、準備に手こずりました。そんな時に私を支えてくれたのは、先生方と家族でした。家族の皆は作成に追われてイライラしている自分をいつも気遣ってくれました。先生方はグループディスカッションの練習のためだけに、自分の仕事を後回しにして付き合っただけなど環境を整えて下さいました。私は何とか合格できましたが、支えてくれた皆に合格したことを伝えるとともに、感謝の念を届けて回りたい



いと強く思っています。

しかし、グループディスカッションの準備はやはり大変でした。テーマも課題論文と同じ地球温暖化ですが、自分があまり考えたことのないテーマであったため、資料作成は困難を極めました。資料を完成させないことにはグループディスカッションの練習が意味をなしません。資料をとにかく早く作り上げ、ディスカッションの準備時間をどれだけ取れるかが勝負でした。今思い起こすと、何回も練習を繰り返したことが懐かしく思い出されます。

長々と話させていただきました。ここまでが私の受験体験記です。この体験記が、少しでも皆様の参考になったのなら嬉しく思います。AO入試は時期が一番早いため、大学にもよりますが、倍率が高くなる傾向があります。けれども、それは逆に考えれば、自分の将来と向き合う時間をたくさん作れる、夢に向かって準備する時間が多くとれるということです。たいへんですが、これは自分の努力に対する大きな見返りになるのではないのでしょうか。私はそう思っています。

後は決まったからと言ってそこで終わりにするのではなく、進学先の大学のパンフレットに目を通しておくことと、オープンキャンパスに行き続けることをオススメします。いざ入学して自分に合わなかったら元も子もないので(笑)。

AO入試は合格するための努力の形が異なるため、心が折れそうになることが多いと思いますが、挫けずに頑張ってください。自分の気持ちを大事にして下さいね。

## ■ 合格体験記 9

私立四年制大学

東海大学

法学部

法律学科

<AO入試>

### 「 進路実現に向けて 」

私が進路実現に向けて努力したことは、受験本番に慣れるためにたくさんの練習をしたことです。付け加えになりますが、もう一つ受験にあたって大切なことがあります。それは自分の夢・目標を忘れないことです。夢・目標さえあれば、受験がどんなに苦しくて困難で逃げ出したくなくても、踏みとどまることができ、最後まで諦めずに挑戦できます。たとえ、夢が明確なものでなかったにしても、ずっと興味のあること、好きなこととか何でも構いません。とにかく進路のきっかけは何でもいいと思います。これらは進路実現につながるモチベーションとなります。それを頑張っている時に思い出し、自分を奮い立たせて下さい。

学習方法は人それぞれ違うものです。向き・不向きがあると思います。だから、無理に友達や周りの人と合わせる必要はありません。自分はAO入試で受験をしたので、放課後と夏休みの期間は毎日、学校で対策をしていました。学校に行けば同じ方法で受験する友達もいるし、先生もいるので困ったことがあったら何でも相談しました。先生には何度も助けられました。おかげで受験に対する不安などは消え、自信もつけることができました。また、家だと集中してできなかったりした時もありましたが、学校だと長時間集中して勉強できるので、学校に来て勉強することをお勧めします。

受験に臨むにあたっての心構えについてもお話しましょう。要は常にポジティブな気持ちを持つことです。ネガティブになると、不安や恐怖心が襲いかかってきます。日々、練習してきたことを思い出せば、自然と不安などはなくなります。あとは自分がこれまで受験対策で使ってきた参考書やノート、プリントなどを見返すと、「自分はここまでやりきった!!」っていう達成感を味わうことができ、それが自信にもつながります。

試験終了後は気長に結果発表を待ちましょう。試験が終わっているのに、「ああすればよかった」「もっとこうすればよかった」と後悔をしても時間の無駄です。むしろ自分のテンションを下げるだけですので、やめましょう。自分は発表日を意識すると、自分のテンションを下げてしまうと考え、カレンダーをあまり見ないようにしていました。あとは良い結果がくるように神社や寺に行って祈願するのも良いかもしれませんが、友達と遊んだり、自分が好きなことをしたりなど、受験中にできなかったことをして息抜きしましょう。そして、今まで頑張ってきた自分を誉めてあげることが一番大事だと思います。

最後に、受験は高校受験とは全く違います。やってみて思いますが、とても難しいものです。いろんな困難の壁が待ち受けていますが、「努力は裏切らない」ので最後まであきらめず頑張ってください。

## ■ 合格体験記 10

**私立短期大学**

小田原短期大学

食物栄養学科

＜AO特待生選抜入試＞

### 「 悩んだらとにかく行動！ 」

私は小田原短期大学食物栄養学科に特待生として合格しました。

栄養について学びたいと思うようになったのは二年生の春頃です。それまでは保育士になりたいと考えていました。私は食物アレルギーがあり、幼い頃から食について興味はありましたが、これを自分の仕事にしようとは考えていませんでした。しかし、自分の身近な人が病気にかかり、食生活が変わったとき、食や栄養の大切さに気づき、進路を変更しました。

急な変更のため、私は栄養学科というものについて全く知識がありませんでした。そのため悩むことばかりでした。そこで、とにかく知ろうとして、実際にオープンキャンパスや授業体験に参加してみました。この学校は他の短大と違って調理に力を入れています。また、栄養教諭免許が取得可能ということに魅力を感じ、三年生の六月頃、この学校を受けようと決めました。さらに入試説明会で、特待生制度があることを知りました。これは合格したら授業料一部免除、もし合格できなくてもAO二期を再度受けると受験料免除というものです。私は進学する際、親に少しでも負担をかけたくないと考えていたし、また、今の自分の実力を知るためにも挑戦してみることにしました。

特待生選抜試験の内容はAO入試の一般と同様の書類・面接審査の他、プレゼンテーション課題、発表内容を題材としたグループ討論、先生方からの質疑応答です。今年のプレゼンテーション課題は「最近肥満がみで体の動きも鈍く、血圧高めの40代男性のための弁当献立を作成する」。偶然、私の身近に肥満がみ、高血圧という人がいたため、発表内容のイメージはすぐにできました。また、課題作成の上では、オープンキャンパスの調理実習で学んだことや、家庭科の先生からのアドバイスが大いに役に立ちました。受験は夏休み中だったため、一人でプレゼンテーションの練習をすることが多く、不安だらけでした。また、グループ討論では相手の良い点や気になった点を見つけること、質問されたら答えられるように、想定問答集を考えることがたいへんでした。しかし、教えてもらったことやアドバイスを生かして、今、自分ができる最善の発表、討論ができました。

結果が出た今、私はとにかく挑戦してみてよかったと思っています。また、オープンキャンパスに参加すると学校の雰囲気を感じられるだけでなく、受験本番でも役に立つことがわかりました。そして、プレゼンテーション課題を作成することを通じて、いろんな視点でみて学ぶことの大切さを実感しました。これから受験を迎えるみなさんも実際にいろんなオープンキャンパスに参加してみてください。AO入試、一般入試など関係なく今できることをし、挑戦してみてください。やらずに後悔することがないように。最後に受験は一人ではできません。わからなかったり、悩んだりしたら先生や友達に聞きましょう。その場で解決できなくても後々ヒントになることや、良いアドバイスをもらえます。受験がたいへんなのは当たり前です。あきらめず挑戦していきましょう。私の入試方法は特殊で勉強方法など教えることはできませんが、これらのことはどの入試方法でも同じだと思うのでどんどん挑戦してみてください。皆さんの受験を応援しています。ぜひとも頑張ってください。

## ■ 合格体験記 11

**医療系専門学校**

静岡県立看護専門学校（旧：東部看護）

看護1学科

<公募制推薦>

### 「 努力を惜しまず 」

私は、公募制推薦で静岡県立看護専門学校に合格しました。

ここでは、私の受験体験を記したいと思います。

私は中学生の頃から看護師になりたいと思っていました。高校に入学してからは看護師についての情報を集めるためにオープンキャンパスや一日ナース体験、病院で開催される看護セミナー、看護学校模擬体験授業などに積極的に参加しました。専門学校に行くことを決めたのは、大学よりも一年早く国家試験が受けられるため、学んだ知識を早く活かせると思ったからです。自分の進みたい分野の知識や学校それぞれにある特徴を知ることが大切です。私はオープンキャンパスの際に在校生と話す機会があり、受験の時どのような勉強をしていたのかなどを聞きました。終わった後に（あれも質問しておけばよかった...）と後悔したので、自分が気になっていることや、質問したいことを考えておくと思います。他にも、学校によって受験科目が異なるので、自分が受験のためにどんな準備をする必要があるのかを知っておくと受験勉強も始めやすいと思います。

私は定期テストだけでなく小テストにも力を入れていました。一日少ない時間でも勉強する習慣がありました。学校によって受験資格があり評定平均の設定も異なるので、成績を上げる努力も必要になってくるかもしれません。普段から勉強する習慣をつけることが受験に繋がると思います。

私が本格的に受験勉強を始めたのは夏頃でした。学校の休み時間にも勉強していました。過去問や、先生から貰ったプリントなどを解いて学校の問題傾向に対応できる力をつけていました。推薦入試の問題だけでなく、一般入試の過去問も解いていました。

私の受験科目は、国語総合（古文・漢文を除く）・数1でした。

国語では、四字熟語や文学作品の作品名と作者名、慣用句などの知識をいれていました。

数学では、過去問の他に同じような問題を教科書などで探し完璧に解けるようにしていました。

私は勉強を始めるのにとっても時間がかかるタイプなので図書館に行って集中できる環境をつくったり、友達と学校に残って、勉強していました。嫌でも勉強できるようにしていました。長い時間ダラダラと続けるよりも、短い時間でも集中して勉強した方が知識も頭に入ってきやすいと思います。また、看護系では多くの学校が面接を重視しています。話をするのが苦手ではない私でも、面接に苦労しました。面接練習を担当していただいた先生や友達と何回も練習をしました。ポイントは具体的に伝えることです。面接は受験前に学校に送る面接調査票に沿った質問をされました。面接官は、答えた内容を深く掘り下げて質問をしてくるのでなにを聞かれてもすぐに対応できるように知識を身につけておくことが重要です。医療に関するニュースにも目を通しておくと思います。やればやるだけ自信がついて本番でも焦ることなく、力を発揮できると思います。

他にも、私は試験日に大型台風が近づいていて一週間受験が延期になりました。受験は何が起こるかわかりません。どんなことにも自信を持って受験に挑めるように日々努力してほしいです。

勉強を続けることは簡単なことではありません。投げ出したくなる時もあります。それでも、私が頑張ることができたのは、絶対に看護師になりたい。そのためにはこの学校に行くんだと強く思っていたからです。自分の夢を実現するためなら努力することができました。また、今の勉強方法が間違っていないかと考えたり、面接練習が上手いかわく不安になることが何度もありました。そんな時は、私の周りに同じ看護師を目指す友達がいたので悩みを聞いてもらったり励ましあいながら乗り越えました。自分だけでなくみんなも努力していることがわかると頑張ろうという気持ちになれました。みなさんもたくさん悩んで努力してください。そして合格を手になさってください!!

## ■ 合格体験記 12

就職 静岡県警察 <公務員・一般>

### 「 一段一段を確実に 」

私は、静岡県警察採用試験に合格しました。4月から静岡県の安全と秩序を守る警察官となるので、自覚をしっかりと持ち、努力していきたいと思っています。

さて、私が合格するまでにやってきた努力を三つ紹介したいと思います。参考にして下さい。

まず一つ目は、一次試験の学科の勉強です。私は、決して勉強が得意ではありません。従って単語を覚えるのにも時間がかかりました。特に数学分野の応用問題、例えば数的処理や判断推理等の分野は全くお手上げでした。苦手を克服しようと、同じく警察官を目指す友達や数学の先生に、学校が閉まるギリギリの時間まで残って教えてもらいました。学科試験は、まだ習っていない分野からの出題が少しありました。けれども、私は参考書を早めに買って問題を繰り返し解いており、早めに準備できた分、試験のギリギリまで教えてもらって対策を講ずることができました。しかし、もし少しでも準備が遅れていたら、きっと自分の納得のいくまでの準備ができず、惨憺たる結果に終わったのではとゾッとします。そんなことにならないよう、あらかじめ行きたい大学の試験の内容については事前にしっかりと調べておくといいでしょう。ぜひ今からでも過去問題集を見たり、インターネットで情報を調べるなどして対策を立てて下さい。

二つ目に体力試験と面接試験の練習です。私は野球部に所属していたので、体力試験はきっと大丈夫だろうと甘く考えていました。事前準備のため、いざレスリング部の朝練に参加してみると、外周ランニングや懸垂についていけませんでした。部活引退後に体力がとても落ちていたのです。やはり何事も過信は禁物と改めて感じました。このことに本番前に気付くことができ、よかったです。

また、面接練習では集団面接と個人面接の2つの対策をしました。しっかりとホームページを見ること、またオープンキャンパスに参加し、その時に感じたことを整理しておく。また、自分が将来、どの部署で働きたいのかを明確にする。自分の考えをしっかりとまとめておく。それらに関連した内容が面接では問われます。面接の時、これらの内容について、自分の言葉でしっかりと話せるようにできることが重要です。けっして安易に考えず、対策をして下さい！特に警察に関連した事項についてアンテナを高くしておくことが重要です。私は警察のホームページを見るだけではなく、警察関係のニュースをよく調べました。例えば、静岡県内の交通事故について、あるいはSNSを悪用した誘拐事件について。そういった事件や事故に対して、今の私はどう考えるか、さらに警察官である自分はどう考えるか。高校生としての自分はSNSを悪用した誘拐事件の対策として「SNSについて知識を持ち、危機感を持つ」と考えました。一方、警察官である自分としては「SNSの危険性について講話をする機会を増やし、対象とする層も広げること」と考えました。立場や状況が変わると、意見も変わってきます。物事を一つの立場から捉えるのではなく、様々な立場から捉える。これによって物事をよりしっかりと捉えることができるようになります。面接時でも、問われたことに短絡的に答えるより、物事をしっかりと捉えた上で答えたならば、よりインパクトがあります！自分の返答に+αがつけられるようになれば、面接もけっしてこわくありません。

最後になりますが、受験を勝ち抜くには多くの人の協力が必要不可欠です。私はこれが特に大切だと思います。私は学科では数学の先生などにわからない所をたくさん聞き、一度も関わったことがない先生にも、学科試験の協力をさせていただきました。また、体力試験でもレスリング部朝練の参加によって、自分の過信に気づかされました。さらに一緒にトレーニングしてくれる仲間がいたこと。これにより、自分一人だとついつい甘くなりがちですが、妥協することなく励むことができました。面接練習でも、担当の先生以外の多くの先生にお世話になりました。先生以外にも声をかけるといつも気軽に面接練習に付き合ってくれた多くの友人たちがいます。面接練習は、多くの人に1回でもいいので、相手をしてもらえると、多くの意見がもらえます。もらった意見をしっかりとノートに書くことで、より良く話す内容、方法を発見できます。また、自分の弱点となりそうな所や、うまく話せない所を見つけられます。その一方で、自分のセールスポイントを発見できました。た

ったの1度の練習だけでも発見できることは多くあります。たった1度の練習でも想像以上に多くのことを見つけられます！だから、遠慮することなく、たくさんお願いをして練習をして下さい。おかげで面接本番では、面接の席に座る前まではとても緊張していましたが、面接中はそれほど緊張しませんでした。場数を多く踏んでいたのも、面接に慣れることができたと思います。こうなれたのも嫌な顔ひとつすることなく付き合ってくれた多くの先生方、友人のおかげと感謝しています。

受験を終えた今、私は、受験とは「自分一人ではなく多くの人の力を借りて挑むもの、また、一つ一つ課題を明確にして確実に超えていくもの」だと考えています。皆さんも、もし今わからない問題があったら、一人だけではなく周りの人に聞いてみて下さい！もちろん自分から動くことが大事です。逆に、何かお願いされたら協力しましょう。多くの話を聞くことは、多くの経験を得ることです。そして、目の前にある階段の遥か先ばかりを気にするのではなく、一段一段を確実に上がって下さい。皆で協力しあう、そして、自分から進んで行動すること。それが自分の将来を開くことにもつながります。お互い頑張りましょう！

以上、卒業生からの貴重なメッセージでした。

みなさん、御協力ありがとうございました！

### 受験生の皆さん

自分の夢に向かって、進路目標達成のために一生懸命

頑張ってください！努力には限りはありません。

健闘をお祈りしています！！



以上、卒業生からの温かいメッセージでした。みなさん、ご協力ありがとうございました。